

そらいろユートピア

2014 年 4 月 19 日（土）— 2014 年 9 月 23 日（火祝）

[基本情報]

展覧会名＝	そらいろユートピア
展覧会英名＝	Big Sky Friendship
会期＝	2014年4月19日（土）— 2014年9月23日（火祝）
会場＝	十和田市現代美術館、中心商店街ほか
開館時間＝	9:00-17:00（入場は閉館の30分前まで） ただし5月3日（土）— 5月4日（日）は18:00まで延長開館
閉館日＝	月曜日（月曜が祝日の場合はその翌日） ただし4月28日（月）、8月4日（月）、8月11日（月）、9月22日（月）は 臨時開館 また5月7日（水）は臨時休館
観覧料＝	企画展+常設展セット券1000円、団体（20名以上）100円引き、高校生以下無料
主催＝	そらいろユートピア展実行委員会
協力＝	株式会社蒼星の森、ギャラリー小柳、守長商店 NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]
後援＝	東奥日報社、デーリー東北新聞社、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、 十和田市教育委員会

展覧会概要

2014 年 4 月、十和田市現代美術館は、「そらいろユートピア」と題した企画展覧会を開催します。本展は、見知らぬ人どうしが、あるモノやコトをきっかけに、ゆるやかにつながるコミュニケーションについて考える展覧会です。

この 3 月で、「3.11」から 3 年が経ちます。

あの震災が私たちに改めて知らせたことに、それまでの地方自治体や地域社会で作られたルールやしきたりなどを超え、人々が手に手を取って助け合ってゆくことの清々しさ、またそれによって形づくられたゆるやかな共同体の温かさがありました。それまでに経験したことのない状況において、社会制度を頼らず、見返りを求めず、自らの感覚や経験を頼りに見知らぬ人々とつながることは、勇気があること。しかし、それが切り拓く世界は、束の間ながらも慈愛に満ちあふれた共同体と見ることはできそうです。社会学者の北原糸子やレベッカ・ソルニットがある種のユートピアと名づけた、災害時におけるこのような現象。しかしながら、それも、復興事業が進み社会が元にもどろうとするなかで、少しずつ消えゆくように見えます。

本展では、この時に、そうした創造力と愛に満ちた空間がどのようなものであるのかについて、芸術作品や震災後に見られた活動をとおして迫ります。仏教の般若心経に出てくる、世界観「色即是空」において、「空（そら）」は、世界全体の響き合い、そして「色」は、すべてのものを指しています。世界が形を変えながら巡るなかで、あの過酷な日々を超えようとしている人々の力のありかにもう一度向き合う試みです。

参加作家

フェデリコ・エレーロ Federico Herrero

カフェ・デ・モンク Cafe de Monk

中崎透 Tohru Nakazaki

三田村光土里 Midori Mitamura

守章 Akira Mori

山本修路 Shuji Yamamoto

山本高之 Takayuki Yamamoto

本展のみどころ

- 被災地で傾聴活動する和尚さんや牧師さんの集団、Cafe de Monkが登場！
- 地域の盆栽が集結し、美術館の中庭に小さな森が出現！
- アート作品で、十和田、石巻、東京を結びます！
- 十和田市現代美術館の常設展示をてがけたコスタリカのアーティスト、フェデリコ・エレーロが参加！

お問い合わせ

十和田市現代美術館 豊川、新居（にい）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

[会期中のイベント、パブリック・プログラム（予定）]

1、フェスティバル TOWADA! ～新・三本木小唄ナイト～ 9月23日（火祝）

十和田市現代美術館が地域の伝統的な盆踊り「三本木小唄」に関わりはじめて6年。今年は大友良英さんをお招きし、アーティストと参加者が入り交じりながら、三本木小唄をアレンジし、演奏し、踊る一大フェスティバルを実施します。当日は「三本木小唄」のほか「あまちゃん音頭」なども登場予定です。また、フェスティバルを前に大友良英部長の「音楽部」を立ち上げます！部活動の参加費は無料。子どもからお年寄りまで、誰でも参加できます。踊りと演奏を覚えて、フェスティバルをもっと楽しもう！

音楽部：6月21日（土）、8月20日（水）、8月21日（木）、9月22日（月） 予定

* 美術部部長・奈良美智、美術部副部長・中崎透、顧問・藤浩志ほか大勢のアーティストが参加予定！

* 詳細はウェブサイトにて発表します。



大友良英



奈良美智 photo by Shin Morikita

2、Cafe de Monkによる《オープニング・トーク》

4月19日（土）14:00-15:30

お坊さんや牧師さんたちが集まり、被災地の仮設住宅などで人々の話に耳を傾けるCafe de Monk。

北は岩手県山田町から南は福島県南相馬市まで、これまでに150回以上行われているこの移動傾聴喫茶は、過酷な震災後、どれだけ人々の心をいやしたことでしょう。

その発起人、通大寺（宮城県栗原市）の金田諦応住職を迎えてお話を聞きます。

無料

3、フェデリコ・エレロによる《アーティスト・トーク》（通訳あり）

4月20日（日）14:00-15:00

無料（要観覧会チケット）

4、《おおおどるゴールデンパフォーマンス》

5月6日（火・大安）11:00-16:00（ゲリラ出没3～4回、各回15～20分）

この世のすべてはオドリでできている。体や音を使用するゲリラパフォーマンス。

<http://oodoru.naturebounds.com>

5、山本高之による《あたらしいわざ！》ワークショップ

7月21日（月祝）10:00-12:00

アーティストの山本さんと柔道や剣道の「あたらしいわざ」をつくろう。

個性あふれるわざを繰り出して、みんなで盛り上がりよう！

無料、要予約

会場：十和田市 志道館(予定)

対象：小学校4年生まで

持ち物：柔道／剣道の道着をお持ちの方は道着(ない方は動きやすい服装で)

お問い合わせ

十和田市現代美術館 豊川、新居（にい）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

6、三田村光土里による《Art & Breakfast（アート&ブレクファスト）》

8月10日（日）9:00-11:00

アート&ブレクファストはコミュニケーションと日常生活をアートを通してより自然に繋ぐ試みです。このプロジェクトは、アーティストが朝食をつくり、来場者とともに食することから始まります。美術館のアートを通して、ひとときのコミュニケーションを楽しむための朝食のテーブルを提供します。

参加料：500円（要展覧会チケット）

定員：30名（要予約）

7、Arts Cube Project vol.5

十和田市有数の景勝地である奥入瀬地区にあるホテル内に、美術館の展示室をキューブにみたてた展示空間「Arts Cube Oirase」を設け、若手アーティストの育成とアートと地域の新しい関わりを提示します。

西川祥子《Surface》展

4月18日（金）－

会場：星野リゾート 奥入瀬溪流ホテル Arts Cube（青森県十和田市大字奥瀬字栃久保231）

プロフィール

1989年山形県生まれ、神奈川県育ち。2011年女子美術大学短期大学部造形学科美術コース彫塑専攻卒業後、2013年武蔵野美術大学総計学部油絵学科油絵専攻卒業。2013年には青森県十和田市に期間限定の移住をした。

私のアタマの中で認知している大きさと形に、実際に観察して描写したものを張付けた。

表層的な情報から勝手に解釈し、すべてを理解したつもりになっていることがある。

視覚的な情報が飛び交う昨今、無意識のうで認知している自分勝手な頭の中にリアルがあるのだろうか。



*その他イベントに関しましては、ホームページをご覧ください。

*イベント内容や出演者は変更になる可能性があります。

*イベント予約は十和田市現代美術館まで。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 豊川、新居（にい）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

参加アーティスト 略歴 (五十音順)

■フェデリコ・エレロ Federico Herrero

1978年コスタリカ生まれ、コスタリカ在住。時間や空間と戯れ、時にキャンバスにとどまらず、外の空間へと飛び出しながら絵画制作に取り組む。十和田市現代美術館でも、現地に滞在し三層吹き抜けの階段室の空間と屋上の床面にペインティング作品を制作。近年の展覧会には「Letras y números」(Galeria Luisa Strina、サンパウロ、2011)、「Aloha Amigo! フェデリコ・エレロ×関口和之」(金沢21世紀美術館、2012)、「P33: Unique Forms of Continuity in Space」(Museu de Arte Moderna de São Paulo、2013) などがあるほか、2001年・2009年にはヴェネチア・ビエンナーレ、2006年にはシンガポール・ビエンナーレに参加するなど世界各地で作品を発表。



■カフェ・デ・モンク Cafe de Monk

東日本大震災後、宮城県栗原市にある通大寺住職、金田諦應(かねたたいおう)住職によってはじめられたプロジェクトで、宗派や宗教を超えて集まった僧侶や牧師などによる移動傾聴喫茶。軽トラックにテーブルやベンチ、コーヒー、ケーキを積み、不定期に被災地の仮設住宅を訪問する。英語でお坊さんをモンクということから、モンク(お坊さん)が被災地に暮らす人々のモンク(文句)を聞いて、一緒にモンク(悶苦)する、Cafe de Monk(カフェ・デ・モンク)と名づけられた。北は岩手県山田町から南は福島県南相馬市まで、これまでに150回以上行われている。



■中崎透 Tohru Nakazaki

1976年生まれ。武蔵野美術大学大学院造形研究科博士後期課程満期単位取得退学。現在、茨城県水戸市を拠点に活動。言葉やイメージといった共通認識の中に生じるズレをテーマに自然体でゆるやかな手法を使って、看板をモチーフとした作品をはじめ、パフォーマンス、映像、インスタレーションなど、形式を特定せず制作を展開している。展覧会多数。2006年末より「Nadegata Instant Party」を結成し、ユニットとしても活動。2007年末より「遊戯室(中崎透+遠藤水城)」を設立し、運営に携わる。

<http://tohru51.exblog.jp/>



■三田村光土里 Midori Mitamura

愛知生まれ。「人が足を踏み入れられるドラマ」をテーマに様々な空間作品を国内外の美術展で発表。「虹の彼方」(府中市美術館、2012)、「Art & Breakfast, Melbourne」(モナッシュ大学美術館、2011)、「クワイエット・アテンションズ」(水戸芸術館現代美術センター、2011)、「グリーン・オン・ザ・マウンテン」(セセッション芸術分離派館、2006)、他多数の展覧会に参加。



お問い合わせ

十和田市現代美術館 豊川、新居(にい)

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

■ 守章 Akira Mori

1967年宮城生まれ。1996年アーティストユニットとして活動開始。ビデオ、写真、音楽など様々なメディアを使用したインスタレーション作品を制作し、2008年にはNPO法人YICA（山口現代芸術研究所）のアーティストインレジデンスに参加。近年の展覧会には、遊工房アートスペース（2012）やAIT ROOM（2012）での個展のほか、「山口盆地午前五時」（山口市菜香亭、2009）、「山口盆地考-間-」（2012、木町ハウス）などのグループ展がある。

**■ 山本修路 Shuji Yamamoto**

1979年東京生まれ。2005年多摩美術大学美術学部卒業。2011年秋から十和田を中心に活動を広げ、地域とともに作品や日本酒をつくるプロジェクトやワークショップを行っている。近年の展覧会では、「Forest of Seedling」（island Japan、2012）、「Story of Forest」（十和田街なかギャラリー、2011）などの個展のほか、2013年には十和田市現代美術館の企画展「十和田奥入瀬芸術祭」、「flowers」、「超訳びじゅつの学校」など多くのグループ展に参加している。

**■ 山本高之 Takayuki Yamamoto**

1974年愛知県生まれ。1999年愛知教育大学大学院芸術教育修了、2002年チェルシーカレッジオブアートアンドデザイン ファインアート修士修了。近年の展覧会に「Facing the Unknown」（ケンジタキギャラリー、2013）、「Facing the Unknown/Dark Energy」（千葉市美術館、2013）、「Dark Energy」（アイランドジャパン、2013）などの個展のほか、「border line」（VideoGUD、2014）、「想像しなおい: In search of Critical Imagination」（福岡市美術館、2014）などのグループ展がある。

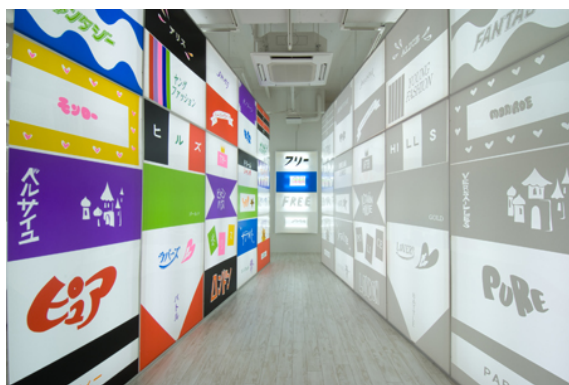


プレス画像

フェデリコ・エレロ



中崎透



守章



山本高之



Cafe de Monk



三田村光土里



山本修路



お問い合わせ

十和田市現代美術館 豊川、新居（にい）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

クレジット

フェデリコ・エレロ	“Landscape” 2010 Contemporary Art Gallery, CAG Vancouver wall painting
中崎透	“color or white” 2007 サイズ可変 ミクストメディア
三田村光土里	“アート&ブレイクファスト メルボルン” 2011
守章	“終日中継局” 2012 屋外スピーカー、広帯域受信機、アンプ サイズ可変
山本修路	“Re-reading the Landscape” 2013 写真：小山田邦哉
山本高之	“Facing the unknown” 2012 ビデオインスタレーション